

腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準の改正について

1. これまでの経緯

- 平成 28 年 10 月 31 日に開催された第 45 回厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会において、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準に関し、以下の検討事項について議論を行い、検討結果をまとめた。
 - 1. 待機日数とHLAの適合度の点数の取扱いについて
 - 2. Age-match 制度の導入について
 - 3. 2 腎同時移植の是非について
 - 4. C型肝炎抗体陽性ドナーの取扱いについて
 - 5. 移植腎機能無発現であったレシピエントへの対応について
- 待機日数とHLAの適合度点数の取扱いについては、腎臓レシピエント選択基準の変更を行う必要を認めるほどの明確な医学的根拠が示されていないため、引き続き腎臓作業班で医学的根拠を収集することとなった。
- Age-match 制度の導入については、腎臓移植の基準等に関する作業班による検討を踏まえ、現行の腎臓レシピエント選択基準の年齢区分である 20 歳未満を小児の年齢区分とすることが了承され、平成 30 年 3 月 20 日より運用が開始された。
- 2 腎同時移植の是非については、ドナーが 6 歳未満の場合 2 腎同時移植を可能とし、ドナーが 6 歳以上（成人を含む）の場合は、JOTが腎臓レシピエント選択基準に基づき選択したレシピエントの担当医（移植医）及びメディカルコンサルトと相談し、ドナーの腎機能に医学的問題があり 1 腎ではその機能が不十分と判断されるときは、2 腎同時移植を行うことが可能と判断された。
- C型肝炎抗体陽性ドナーの取扱いについては、血中にHCVが存在し

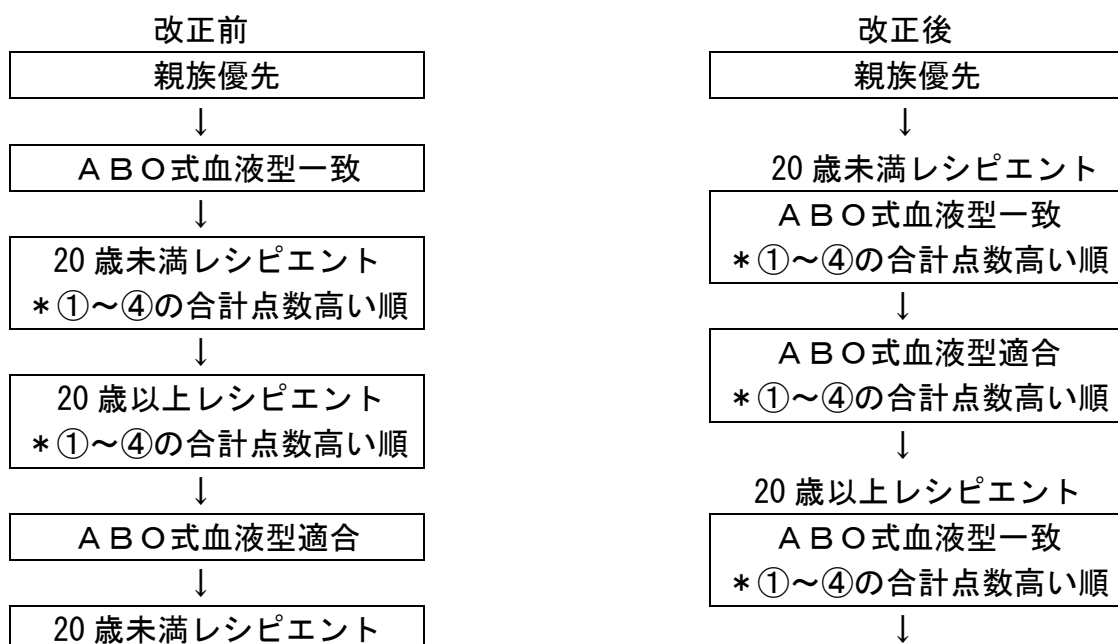
ない場合であっても腎臓にHCVがある可能性があることから、現在のレシピエント選択基準を改正する必要はなく、HCV genotypeによりHCV抗体陽性ドナーおよびHCV抗体陽性レシピエントの取扱いを変更するためには、臓器ごとの学会で定める「レシピエント適応基準」の改正が必要と判断された。

- 移植腎機能無発現であったレシピエントへの対応については、移植腎機能無発現がドナー側の原因であることの医学的根拠をレシピエントの担当医（移植医）が示した場合は、移植前の待機期間をそのまま維持するが、原因がドナー、レシピエントどちら側にあるのか判断するための診断基準は関係学会で定めることと判断された。

2. Age-match 制度の導入について

- 現状の選択基準では、ABO式血液型の一致が適合や年齢要件より優先されているため、血液型一致の小児レシピエントがない場合、血液型一致の成人レシピエントに移植される。平成30年4月24日に開催された腎臓移植の基準等に関する作業班での検討を受け、血液型一致の小児レシピエントがない場合、血液型適合の小児レシピエントを血液型一致の成人レシピエントより優先するよう腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準を変更してはどうか。

◎ドナーが20歳未満の場合



*①～④の合計点数高い順
↓
20歳以上レシピエント
*①～④の合計点数高い順

A B O式血液型適合
*①～④の合計点数高い順

*①搬送時間、②HLA適合度、③待機日数、④未成年者

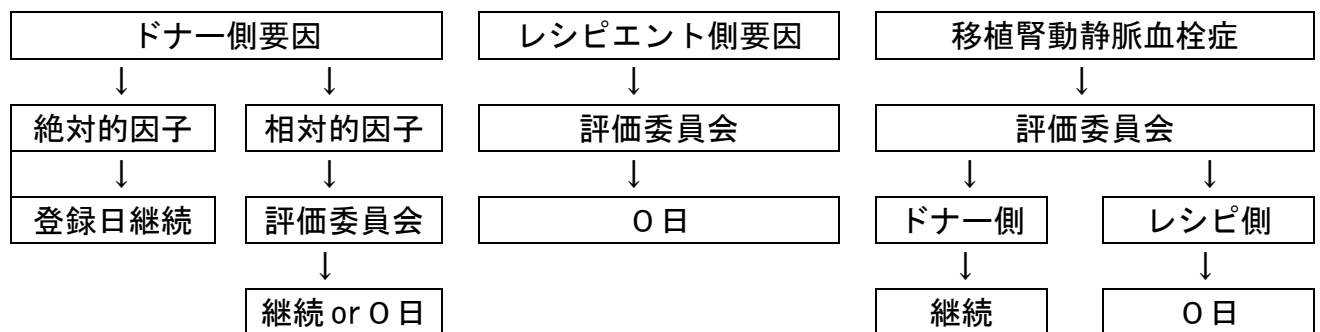
3. 移植腎機能無発現であったレシピエントへの対応について

- 平成29年12月25日、日本移植学会の「献腎が無機能であった場合の待機期間の検討委員会」より、献腎が無機能であった場合の待機期間についての提言書が提出された（参考資料1-4）。

日本移植学会からの提言書まとめ

- ①無機能腎の定義；移植後3ヶ月の時点で機能しない腎臓。移植後3ヶ月の時点で週1～2回透析が必要な事例も含む。

②待機期間、再登録のフローチャート



ドナー側絶対的因子；温阻血時間（WIT）>30分、総阻血時間（TIT）>24時間、ドナー年齢70歳以上

- ③評価委員会の委員は、「献腎が無機能であった場合の待機期間の検討」委員が継続する。評価委員会は申請後1週間以内に持ち回り審議を行い、待機期間について検討する。移植施設は評価委員会の回答を得た後に、再登録する。

- 平成30年4月24日に開催された腎臓移植の基準等に関する作業班での検討を受け、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準を以下のように変更してはどうか。

腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準（新旧対照表）

改正案	現行
<p>2. 優先順位</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 待機日数</p> <p>待機日数 (N) ≤4014 日：待機日数ポイント = N/365 点</p> <p>待機日数 (N) >4014 日：待機日数ポイント = 10 + log_{1.74} (N/365 - 9) 点</p> <p><u>移植後 3 ヶ月の時点で機能しない腎臓、あるいは移植後 3 ヶ月の時点で週に 1 ~ 2 回透析が必要な事例（いわゆる無機能腎）について、ドナー側の絶対的因子（温阻血時間 WIT > 30 分、または総阻血時間 TTT > 24 時間、またはドナー年齢 70 歳以上）による無機能腎では、待機期間をそのまま継続する。ドナー側の相対的因子、またはレシピエント側因子、または移植腎動静脈血栓症による無機能腎では、評価委員会が申請後 1 週間以内に持ち回り審議を行い、待機期間について検討する。移植施設は、評価委員会からの回答をもって再登録する。</u></p> <p>(4) (略)</p> <p>3. 具体的選択方法</p> <p>適合条件に合致する移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。</p> <p>(1) (略)</p> <p><u>(2) 臓器提供者（ドナー）が 20 歳未満の場合は、選択時 20 歳未満である移植希望者（レシピエント）を優先する。</u></p> <p><u>(3) ABO 式血液型が一致（identical）する者を適合（compatible）する者より優先する。</u></p> <p>(4) (略)</p>	<p>2. 優先順位</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 待機日数</p> <p>待機日数 (N) ≤4014 日：待機日数ポイント = N/365 点</p> <p>待機日数 (N) >4014 日：待機日数ポイント = 10 + log_{1.74} (N/365 - 9) 点</p> <p>(4) (略)</p> <p>3. 具体的選択方法</p> <p>適合条件に合致する移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。</p> <p>(1) (略)</p> <p><u>(2) ABO 式血液型が一致（identical）する者を適合（compatible）する者より優先する。</u></p> <p><u>(3) 臓器提供者（ドナー）が 20 歳未満の場合は、選択時 20 歳未満である移植希望者（レシピエント）を優先する。</u></p> <p>(4) (略)</p>